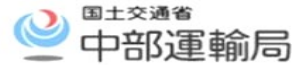


令和3年11月26日



大雪時の道路交通確保の対策方針

～関係4者合同※で説明～

○内容：

昨年度の冬、各地で大雪に伴う道路上の車両の大規模な滞留が発生し、その対応に長時間を要する事態となりました。この冬を迎えるにあたり、今回、人命を最優先に大規模車両滞留を回避する目的で、雪氷期における道路交通確保に向けた様々な取り組みを強化し、併せて、道路利用者や地域住民の皆様はその協力を呼びかけます。

関係4者（※中部地方整備局、中部運輸局、名古屋地方気象台、NEXCO中日本）

○日時：令和3年11月26日（金）15:00～

○場所：愛知県政記者クラブ会見場

○資料：資料1、資料2、資料3、資料4

○配布先：中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、東海交通研究会

○説明者：

・中部地方整備局 道路部 道路情報管理官 伏木 章尋ふしき あきひろ

・中部運輸局 総務部 安全防災・危機管理課 課長 小中 太こなか ふとし

・名古屋地方気象台 気象防災情報調整官 若杉 栄一わかすぎ えいいち

・NEXCO中日本 名古屋支社 保全・サービス事業部 企画統括 担当課長 原 和正はら かずまさ

○問い合わせ先

○中部地方整備局 道路部道路管理課 課長 あさい ようじ
浅井 洋二
課長補佐 おおさき よしやす
大崎 義保
TEL:(052)953-8176

○中部運輸局 総務部 安全防災・危機管理調整官 おがさわら ひろかず
小笠原 洋和
安全防災・危機管理課 課長 こなか ふとし
小中 太
TEL:(052)952-8049

○名古屋地方気象台 広域防災管理官 きただ しげき
北田 繁樹
気象防災情報調整官 わかすぎ えいち
若杉 栄一
TEL:(052)751-5577

○NEXCO中日本 名古屋支社 保全・サービス事業部 企画統括課
担当課長 はら かずまさ
原 和正
課長代理 せりかわ たけし
芹川 武志
TEL:(052)222-1319

令和3年度 大雪時の道路交通確保の対策方針

関係4者 合同記者説明会

令和3年11月26日(金)

■ 大雪時の道路交通確保対策に対する考え方の転換

大雪時の道路交通確保に対する考え方を

「出来るだけ止めない」から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」に転換

■ 道路利用者等への事前の情報提供

大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回を要請する情報を提供

3日前～ 不要不急の外出の自粛や広域迂回の呼びかけ

1日前～ 通行止め区間、日時、迂回経路などの情報提供

周知 ・新聞、TV、ラジオ、HP、SNS、道路情報板、デジタルサイネージ等

・道路利用者、運送業、荷主、観光業の方へ

■ 高速道路との同時通行止め

高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇なく実施

広範囲での通行止めと広域迂回の呼びかけを実施

■ 大雪時の道路交通確保の体制(中部地方)

4者(中部地方整備局、中部運輸局、名古屋地方气象台、NEXCO中日本)を中心に各県情報連絡本部と連携し大雪時の道路交通確保対策を実施

「出来るだけ止めない」から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」に転換

＜大雪のため、大規模な立ち往生が発生 2,000台以上＞

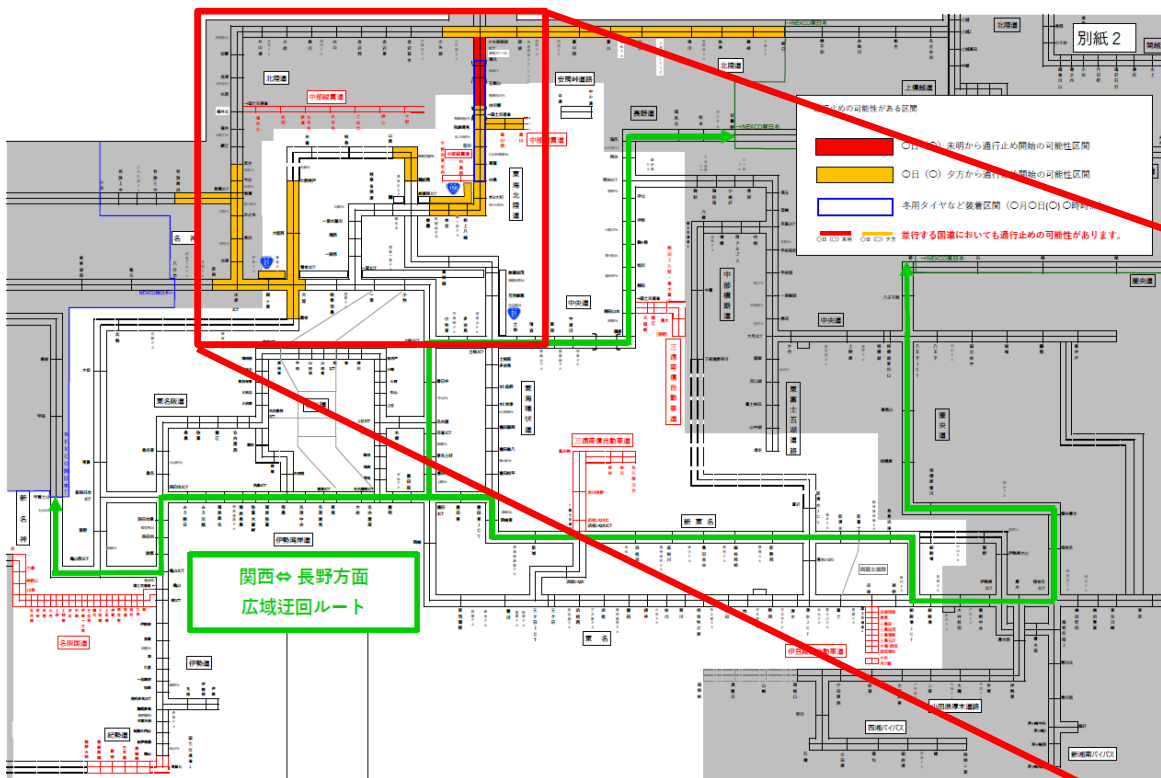


○令和2年12月、関越自動車道で、2,000台を超える大規模な立ち往生が発生し、車両の移動および通行止め解除に2日以上要しました。

道路利用者等への事前の情報提供

大雪時は大規模な車両滞留を回避するため 計画・予防的に高速・国道通行止の可能性

通行止め予定広報のイメージ

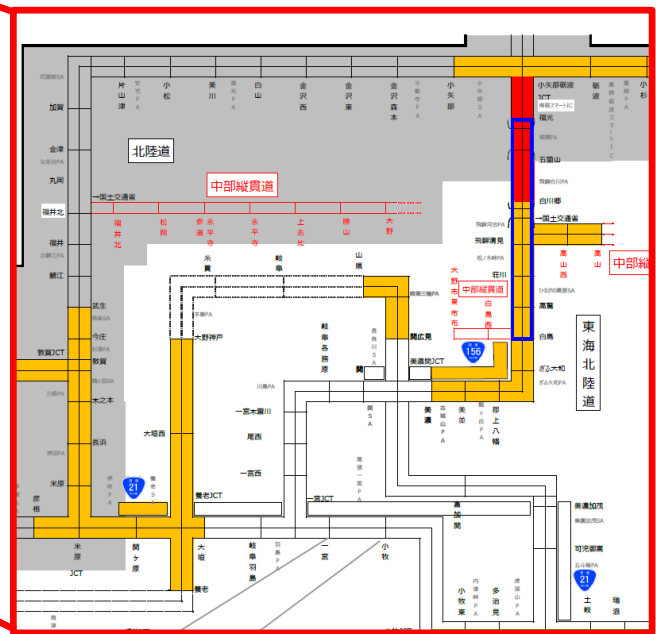


通行止めの可能性がある区間

- 〇日(〇)未明から通行止め開始の可能性区間
- 〇日(〇)夕方から通行止め開始の可能性区間
- 冬用タイヤなど装着区間(〇月〇日(〇)〇時時点)

並行する国道においても通行止めの可能性があります。

〇日(〇)未明 〇日(〇)夕方

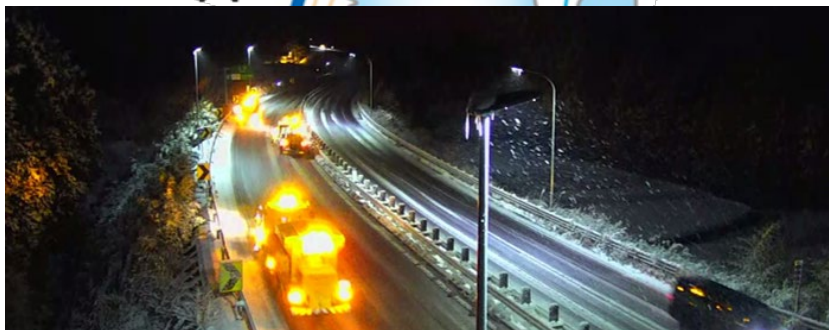
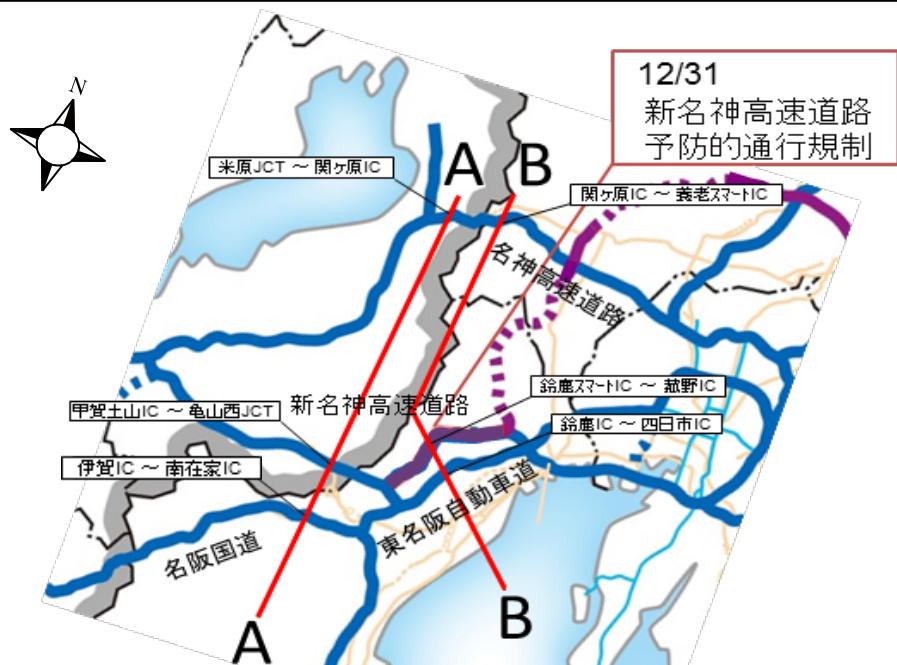


○事前に通行止め予定、広域迂回を案内

高速道路との同時通行止め(昨年度の年末年始交通状況)

○年末年始、道路利用者の皆様による不要不急の外出の自粛等のご協力により交通障害を回避できました。

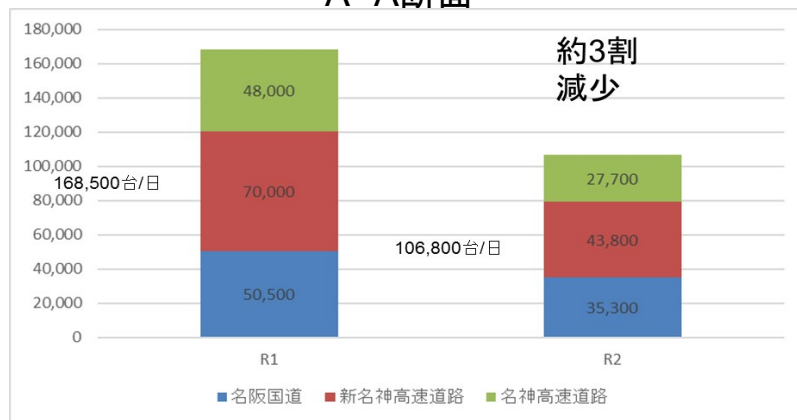
- ・令和2年12月31日、新名神高速道路が予防的通行規制を行い、集中除雪を実施。
- ・出控え及び並行路線の除雪体制強化により、交通障害は回避。



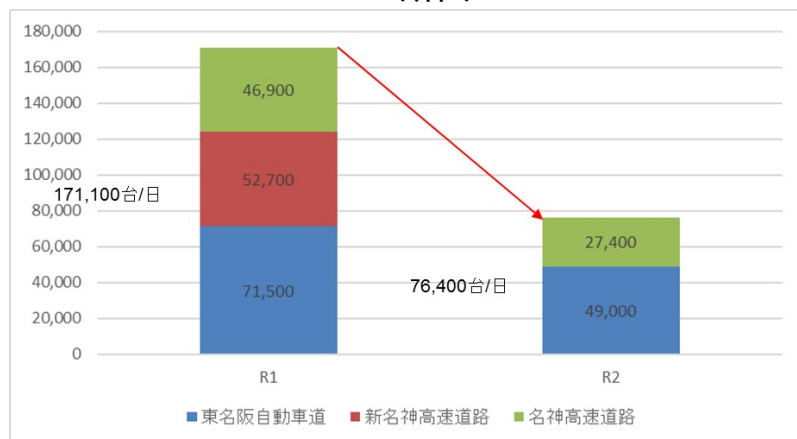
○新名神高速道路 四日市JCT～亀山西JCT間 通行止時の名阪国道

○12月26日～1月3日の平均交通量

A-A断面



B-B断面



※新名神は通行止期間を含んでおり計上していない

4者及び県等の関係機関と連携し対応

■ 気象情報 ■
名古屋地方気象台

連携

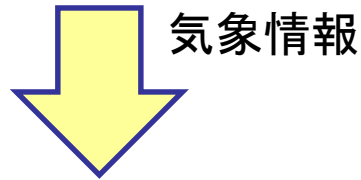


■ 道路管理者 ■
中部地方整備局
NEXCO中日本

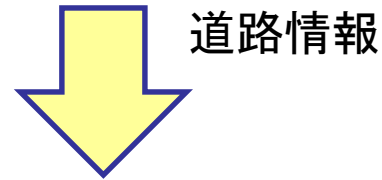
連携



■ 運送・観光 ■
中部運輸局



気象情報



道路情報



公共交通
情報

道路利用者・荷主

運送事業者
観光事業者

2021年度 NEXCO中日本の雪氷対策

令和3年11月26日

中日本高速道路(株) 名古屋支社



1. 2021年度雪氷期における取り組みの強化 P 2
2. 事前準備から早期通行止め解除に向けた流れ P 3
3. 関係機関との連携強化 P 4
4. 滞留車両が発生した場合の支援体制の構築 P 5
5. 早期通行止めの解除に向けて P 6
6. 適時適切な情報提供の取組み P 7～14
7. お客さまへのお願い P15
8. 報道機関各社さまへのお願い P16

1. 2021年度雪氷期における取り組みの強化

NEXCO

NEXCO中日本は、2021年1月9日（土）から12日（火）にかけての大雪の影響により、管理するE8 北陸自動車道とE41東海北陸自動車道で大規模な滞留車両が発生し、長時間にわたる通行止めなど社会的に大きな影響を与え、お客さまに大変ご迷惑をお掛けしたことから、大雪時の雪氷対策の見直しをおこない強化を図ります。

大雪時の道路交通を確保するための考え方は、国の「冬期道路交通確保対策検討委員会」における『大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ（平成30年5月・令和3年3月改定）』による提言を踏まえ、短期間の集中的な大雪時は、「自ら管理する道路を出来るだけ通行止めにしないこと」というこれまでの考え方から転換し、道路ネットワーク全体として大規模な車両滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響の最小化」を目標に、今後は「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応いたします。

この基本的な考え方に基づき、短期間の集中的な大雪による車両の滞留が予見される場合には、計画的・予防的通行止めを行い、集中除雪を実施し、早期解除を目指します。また、高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇なく実施するために関係機関との更なる連携強化を図り、滞留車両が発生した場合の支援体制を構築するとともに、事前広報の強化によりお客さまへ適時適切に情報の提供などを実施します。

2. 事前準備から早期通行止め解除に向けた流れ

NEXCO

《事前準備》

1. 啓発広報の強化

○出控え、広域迂回の呼びかけ、予防的通行止めの実施などを広域的に広報

2. 除雪体制の確保

○必要除雪能力を把握し、応援派遣調整

3. 自力走行不能車両の早期排除車両の事前配備

○レッカー、トラクターショベル等の事前配備

《大雪降雪時の対応》

4. 路面状況の適切な監視

○CCTVカメラ、現場巡回の強化による適切な監視の実施

5. 予防的通行止めの必要性判断、調整

○除雪能力を超過する降雪が継続する予測がされた場合、自力走行不能車両発生の可能性等から必要性を判断し、関係機関調整

6. 予防的通行止めの実施・集中除雪の実施

7. 通行止め下における緊急車両通行

○要請に応じ、通行止め下における緊急車両の通行車線を確保

8. 関係機関調整、通行止め解除

・降雪状況に応じて、関係機関と調整のうえ通行止め解除
・広域で長時間にわたる通行止めが発生した場合、一般車両を対象とした①冬用タイヤ規制、②片側1.5車線確保による解除の選択肢を準備

3. 関係機関との連携強化



- **高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇なく実施するため、関係機関との更なる連携強化を図ります。〈強化〉**

短期間の集中的な大雪により車両の滞留が予見される場合には、幹線道路上の大規模な車両滞留の回避を目的に、降雪前・降雪時・滞留発生時などの各段階の行動計画（タイムライン）を策定するなど、関係機関との更なる連携強化を図ります。

交通状況、降雪状況に応じて躊躇なく高速道路と並行する一般国道などと同時に通行止めをおこないます。

4. 滞留車両が発生した場合の支援体制の構築

NEXCO

■ 滞留状況を正確に把握するための体制や乗員保護の支援体制を確保します 〈強化〉

国が「大雪に関する緊急発表」をおこなうような異常降雪時には、複数箇所と同時に大規模な車両の滞留が発生することも想定し、滞留状況把握のため専任の人員を確保し、あらかじめ現地へ応援派遣をおこないます。

また、スノーモービルなどを準備し、滞留状況の迅速な把握やお客さま支援を強化します。



さらに大規模な滞留の発生により、滞留の解消まで長時間におよぶ可能性がある場合には、滞留車両の乗員保護のため、関係機関と連携して飲料水や食料などの物資を適切に提供するとともに、必要に応じて避難所やホテルなどへの一時避難を支援します。

5. 早期通行止めの解除に向けて

■ 降雪中は除雪作業を実施しています。予防的通行止めを行った場合は、**戦略的に除雪※を行うなど、通行止めの早期解除を目指します。〈継続〉**

※車両走行中には除雪対応が困難な箇所（下図※など）を集中的に除雪すること

除雪車両による本線除雪



車両のメンテナンス

※ 料金所に積もった雪の除去



※トンネル坑口回り積雪の除去



※路肩側へ堆積した雪の除去



夜間作業



6. 適時適切な情報提供の取組み

NEXCO

■大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回などを要請する情報を提供します <強化>

大雪の気象予測が発表された場合は、3日前から不要不急の外出の自粛や広域迂回の呼びかけを、1日前からは通行止め区間、日時、迂回ルートなどの情報提供を緊急テレビCM、WEBサイトやSNSなど多様な広報媒体を活用し、繰り返し広報します。

さらに高速道路と並行する国道などの同時通行止めを含む計画的・予防的な通行規制を実施するにあたっては、空振りとなることを恐れず、関係機関の協力を得つつ、テレビCMやWEBサイト、デジタルサイネージなどで幅広く周知することで高速道路をご利用のお客さま、物流事業者や荷主に輸送のスケジュールやルートの変更の検討を繰り返し促します。

■さまざまな媒体による広報の実施

- ・WEBサイト
- ・プレスリリース（FAX送信）
- ・テレビCM
- ・iHighway中日本（Webサイト）
- ・Twitter（NEXCO中日本名古屋支社）
- ・ドラキヤス（スマホ版/エリア版）
- ・デジタルサイネージ（SA・PA設置）
- ・除雪NAVI
- ・高速道路および一般道上の情報板
- ・ハイウェイラジオ
- ・ハイウェイテレフォン
- ・目で見えるハイウェイテレフォン

など

①WEBサイト・プレスリリース・テレビCM



■大雪事前広報や冬用タイヤ装着に関する安全啓発広報の実施＜強化＞

大雪が予測される場合は、3日前から出控え広報を開始し、広域迂回などの広報を実施します。

- ・大雪に関する広報は3日前から開始
- ・通行止め予測区間は、通行止め開始見込の24時間前から広報を開始し、以降6時間毎に更新
- ・雪道の安全啓発に関するテレビCMを11月16日から放送開始し、大雪の予測時は、3日前から出控えをお願いする臨時の内容に差し替えて放送します。

プレスリリース・WEBサイト（例）

大雪のため高速道路のご利用はお控えください
～通行止めが予想されます～

大雪のため、NEXCO中日本管内の大雪の地域における高速道路にて、通行止め等の規制が予想されます。

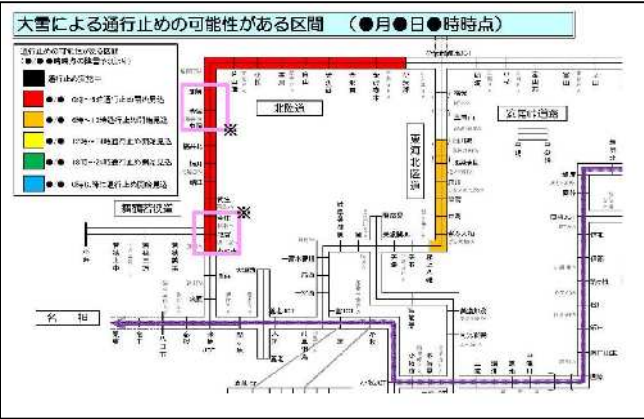
| 路線 | 区間 | 17-18 | 18-19 | 19-20 | 20-21 | 21-22 | 22-23 | 23-24 | 24-25 |
|----------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 55 北陸道 | 高松北 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 高松南 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| 41 東海北陸道 | 福井南 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
| | 福井北 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

※規制区間 17-18～19-20、19-20～20-21、20-21～21-22、21-22～22-23、22-23～23-24、23-24～24-25の区間が規制されます。規制区間の通行止めは、大雪の状況により変更される場合があります。

大雪による通行止めは、安全を確保し、通行止めを必要とする場合は、冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行、広域迂回のご利用をお願いします。

また、高速道路では、それでも自力走行不能車両が発生すると、無制限の渋滞や通行止めが発生する可能性があります。お出かけ前には、最新の交通情報や道路状況情報をご確認ください。また、早めのタイヤチェーン装着をお願いします。

なお、運送事業者及び荷主企業の皆さまにおいても、今後の気象予測をご留意いただき、広域迂回のご検討や運送日数調整などのご協力をお願いいたします。



WEBサイトでの通行止め予測区間の広報

- 【テレビCMのポイント】
- ①早めの冬用タイヤの装着、タイヤチェーン携行（初冬期）
 - ②冬用タイヤでもチェーンの準備を（厳冬期）
 - ③出控えの呼びかけ（大雪降雪予測時）

大雪に関するプレスリリース

NEXCO
中日本

テレビCM（例）

緊急のお知らせ
大雪による高速道路の通行止めが予測されています

2日間以上
高速道路での立ち往生も発生

自分だけは「大丈夫」と
思わないで

命を守るため
車での不要不急の外出は
お控えください

き、出控えー

えっ！?

早めの
冬用タイヤの装着
タイヤチェーンの携行!

ですよー

通常気象時

大雪降雪予測時

② i Highway中日本

NEXCO

アイハイウェイ

■ iHighway中日本による広報 (https://c-ihighway.jp/web/) <継続>

Highway 中日本ハイウェイ交通情報 2019年11月05日 11時10分現在 - 情報提供: JARTIC

/20◆通行止=東海北陸10/28～、東海環状11/11～、名神・北陸11/20～

東海 エリア

交通死亡事故急増！！スピードを控え

交通死亡事故急増！！スピードを控え安全運転を

ボタンを押すと現在の気象情報や道路状況を確認できるマークが表示されます。

開ヶ原トンネル東

2019/11/05 11:15

E1名神 下394.8KP 開ヶ原TN東

最新情報へ更新

一宮

気象予測 (11/05 - 12:00発表)

天気: 晴れ
気温: 15℃
路面: 乾燥

| 月/日 (曜日) | 11/5 (火) | 11/5 (火) | 11/5 (火) | 11/5 (火) |
|----------|----------|----------|----------|----------|
| 時 | 12時 | 15時 | 18時 | 21時 |
| 天気 | ☀️ | ☀️ | ☀️ | ☀️ |
| 降雪量 | - cm/h | - cm/h | - cm/h | - cm/h |
| 気温 | 15℃ | 16℃ | 10℃ | 8℃ |

③Twitter

■Twitterによる情報提供<継続・強化>

(昨年度からの強化点) 通行止めの可能性がある区間と迂回路の案内を路線図でも提供します。

ツイート例

NEXCO中日本 名古屋支社 @c_nexco_nagoya · 2018年12月28日
現在の、名神 関ヶ原インター付近の様子



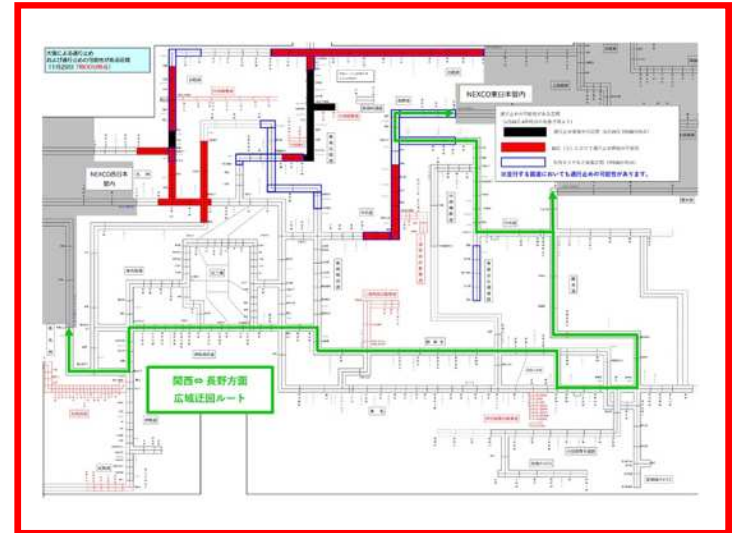
10 1,687 1,494

ツイート

リツイート済み

NEXCO中日本 名古屋支社 @c_nexco_nagoya

【冬期以外に冬用タイヤを使うのは危険！！】
冬用タイヤは、ノーマルタイヤよりもブレーキ性能が劣ります。昨年夏、中央道で冬用タイヤを装着した車両のブレーキが十分に効かず、追突・横転する死亡事故が発生しています。まだ冬用タイヤを装着したままの場合は、早めの交換をお願いします。



【情報提供内容】

- ①通行止め開始時・解除時の情報
- ②ランプ閉鎖時・解除時の情報 (JCT・IC・スマートICを含む)
- ③通行止めの状況 (滞留発生時の先頭の状況など)
- ④車線規制による作業開始時・終了時の情報 (つらら落としなど)
- ⑤天候の見込みの情報 (天候急変時など)
- ⑥お客さま支援状況
- ⑦その他、お客さまにお伝えする情報

(本線などで滞留し情報収集が困難なお客さまなどへの情報提供を実施)

④ドラキヤス

NEXCO

■SA・PAやスマホ・PCでの降雪状況などの情報提供<継続>～ドラキヤス～

冬用タイヤの装着やチェーンの携行、出控えを促すことを目的として、SA・PAでこれから向かわれる先の道路状況ライブ映像、天気予報、交通規制などの情報を提供します。



【設置箇所】

東名 美合PAⓈ、上郷SAⓈ、東郷PAⓈ
 新東名 岡崎SAⓈ
 名神 尾張一宮PAⓈⓈ
 養老SAⓈⓈ、多賀SAⓈ
 中央道 恵那峡SAⓈⓈ
 東名阪 御在所SAⓈⓈ
 東海北陸道 長良川SAⓈ

※NEXCO西日本管内にも設置（迂回検討支援のため）

名神 草津PAⓈ、大津SAⓈ
 第二京阪 京田辺PAⓈ



【放映内容】※画面を3分割して放映

- ①…断面図での天気予報、警報注意報、実況天気
 仮想キャラクターによる気象解説動画など
- ②…管内全域図での天気予報、管内のライブカメラ映像
- ③…安全啓発コンテンツ、運転注意情報など



スマホやPCからの閲覧も可能

<https://micos-sc.jwa.or.jp/driving-weather/central/>

「ドラキヤス」で検索を！！

⑤ デジタルサイネージ

NEXCO

■ デジタルサイネージによる情報提供 < 継続 >

大雪事前広報や通行止め区間に関する最新の情報については、SA・PAに設置のデジタルサイネージ（一部SA・PA除く）にも掲出し、情報を提供します。



表示例

大雪のため高速道路のご利用はお控えください

通行止めの可能性がある区間

【17日（水）～18日（木）】

| 道路名 | 区間 | |
|-------|--------|------------|
| 北陸道 | 長浜IC | ～ 武生IC |
| | 小矢部IC | ～ 朝日IC |
| 東海北陸道 | 白鳥IC | ～ 小矢部砺波JCT |
| 舞鶴若狭道 | 若狭美浜IC | ～ 敦賀JCT |

※上記の区間以外にも通行止めが予想されている区間があります。

高速道路で一台でも白力走行不能車両が発生すると、長時間の渋滞や通行止めにつながる可能性があります。高速道路をご利用になるときは、必ず冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします。
※ノーマルタイヤでの当道走行は法令違反です。

【関連情報】

リアルタイムの路面状況・交通状況や気象予測はこちらから
NEXCO中日本ホームページ <https://www.c-highway.jp/>

お問い合わせ先 NEXCO中日本お客さまセンター
0120-922-229（フリーダイヤル）

デジタルサイネージ [MIB (Multi Information Board)]

- ・ 静止画データを数秒サイクルでループ再生
- ・ 情報の更新がある都度、データの差し替えが可能

⑥除雪NAVI

NEXCO

■ 除雪NAVIによる除雪作業箇所のお知らせ < 継続 >

除雪作業のため低速走行を行っている車両の位置情報をスマートフォンのアプリ「除雪NAVI」によりお客さまに提供し、渋滞発生などの注意喚起をおこないます。

- ・スマートフォンのアプリをダウンロード、またはパソコンで専用サイトにアクセスすることで閲覧可能。
- ・NEXCO中日本管内すべてでご利用いただけます。



<https://snowcar.vpis.jp/>
パソコンURL



Appleストア



Playストア



⑦道路情報板

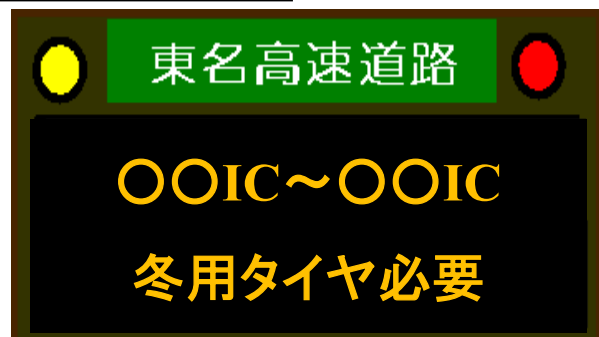
NEXCO

■情報板における「冬用タイヤ必要」の表示〈継続〉

愛知県、岐阜県（名神のみ）、三重県、滋賀県（北陸道を除く）内の路線で降雪があった場合、高速道路など上の情報板に「〇〇IC～〇〇 IC 冬用タイヤ必要」と表示を行います。

| 情報提供実施箇所 | 情報提供実施媒体 | 情報提供内容 (表示・放送内容等) |
|---|----------------|--------------------------------|
| 愛知県、岐阜県（名神のみ）、三重県、滋賀県（北陸道除く）内の各高速道路（上下線）及び接続する一般道 | 高速道路及び一般道上の情報板 | 上段表示：『〇〇－〇〇』 下段表示：『冬用タイヤ必要』 |

情報板表示イメージ



| 表示実施日 | 対象区間 |
|------------|----------------------|
| 2020/12/16 | 名 神： 大垣IC～関ヶ原IC |
| 2020/12/31 | 東 名 阪： 桑名IC～伊勢関IC |
| 2020/12/31 | 新 名 神： 四日市JCT～甲賀土山IC |
| 2020/12/31 | 名 神： 関ヶ原IC～八日市IC |
| 2021/1/29 | 名 神： 岐阜羽島IC～米原JCT |
| 2021/1/30 | 名 神： 米原JCT～八日市IC |

今シーズンも引き続き降雪時は情報発信していきます。

7. お客様へのお願い

NEXCO

冬用タイヤの未装着やすり減った冬用タイヤ、タイヤチェーンの不携帯による車両の立ち往生が、長時間の大規模な滞留につながる場合があります。

お客様には、早めの冬用タイヤ装着やタイヤチェーンの携帯に加えて、お出かけ前には天気予報や交通状況をご確認のうえ、雪道での安全運転を心掛けていただきますようお願いいたします。

※積雪や凍結時の高速道路をノーマルタイヤで走行すると、
道路交通法第71条第6号により違反となる場合があります。

※冬用タイヤやタイヤチェーンの装着については、都道府県の公安委員会
による定めがありますので、通行区間の都道府県の条例等をご確認ください。

お客様ご自身の命を守るため、「大雪に関する緊急発表」が出された場合は、不要不急の外出を控えて下さい。

やむなく出かける場合はや広域的な迂回、出発時間の変更などをお願いいたします。

8. 報道機関各社さまへのお願い

NEXCO

高速道路をご利用になる場合の冬用タイヤの装着やタイヤチェーンの携行の啓発にご協力をお願いいたします。

「大雪に関する緊急発表」が発出された場合は、高速道路などの主要道路で通行止めの可能性があること、車両滞留の危険性があること、出控えを検討いただくこと、広域迂回を検討いただくことなどをより多くの方にお伝えいただけるようお願いいたします。

① 運送事業者及び利用者向けリーフレット・・・ 1

「雪道での立ち往生に注意！！」
～大型車の冬用タイヤとチェーンについて～

② 降積雪期における道路管理者による立ち往生・・・ 5
車両写真の撮影等について（本省事務連絡）

道路管理者からの提供例（参考資料）・・・ 7

【その他参考資料】

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保・・・ 8
に向けたご理解とご協力のお願い
(荷主団体向け農水省、経産省、国交省事務連)

雪道での立ち往生に注意！

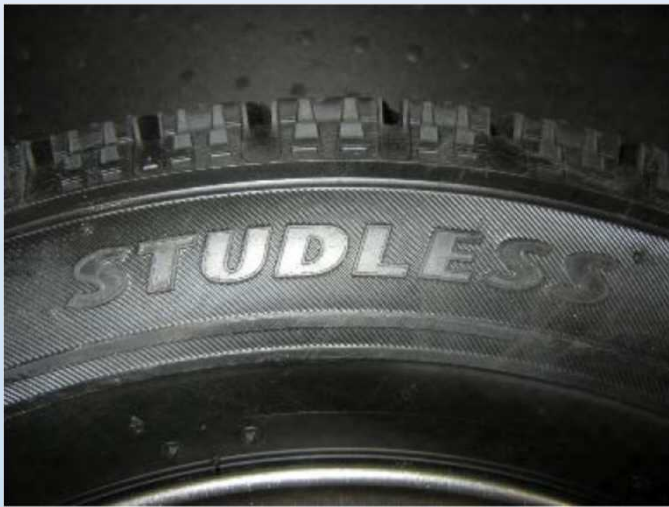
-大型車の冬用タイヤとチェーンについて-



- ❏ 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め**を引き起こします。
- ❏ 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するとともに、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- ❏ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、**講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象**となります。

冬用タイヤの選び方

- Ⓜ オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部接触可能な積雪状況**を想定したタイヤです。
- Ⓜ 路面を覆うほどの**過酷な積雪路・凍結路**においては、**スタッドレス表記**(国内表記)又は**スノーフレイクマーク**(国際表記)が表示されている冬用タイヤを**全車輪に装着**してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレイクマーク
タイヤの側面に表示
されています。

冬用タイヤの使用限度

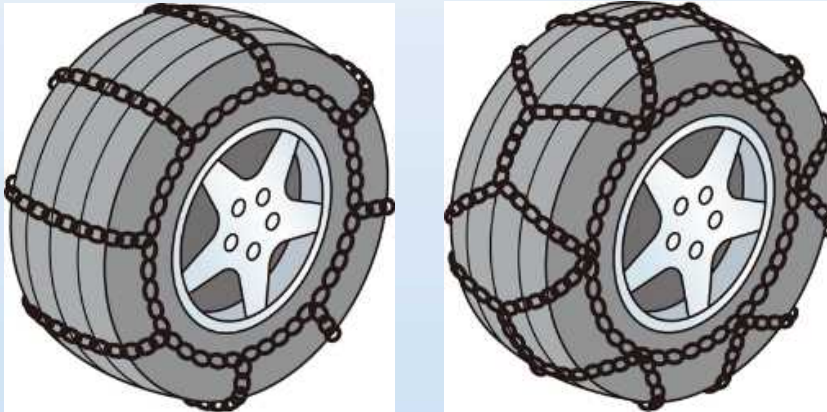
- Ⓜ **溝深さが50%以上残っていることを「プラットホーム」**で確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)



残り溝深さが「プラットホーム」に達している状態。冬用タイヤとして使用できません。

チェーンの効果

- ❑ チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結路での**発進・登坂性能が向上**します。
- ❑ チェーンの**サイズや締め方が不適切**な場合、**タイヤとの間で滑りが生じ**効果が得られません。



大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着

- ❑ **大雪警報が発表されるなど相当量の積雪**が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- ❑ 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

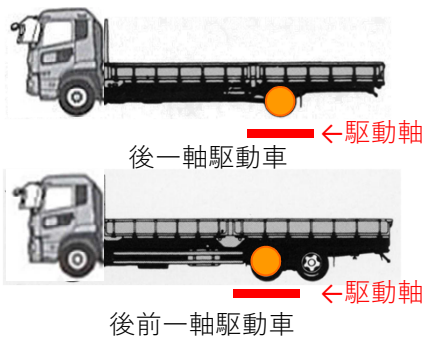
性能限界

- ❑ 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触**するような**新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- ❑ 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

立ち往生が発生しやすい車両

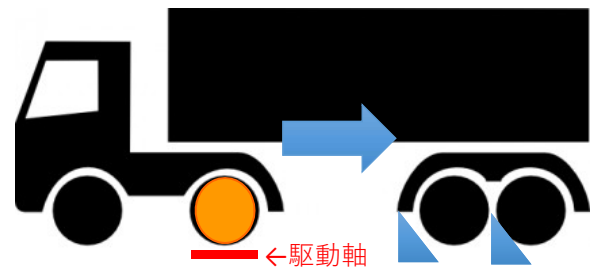
以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において**特に立ち往生が発生しやすい傾向**にあるので注意が必要です。

一軸駆動車



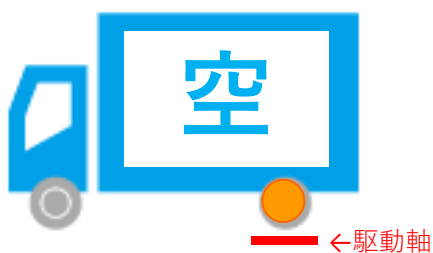
二軸駆動車に比べて駆動軸が空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかからず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信しています。



国土交通省

自動車局 審査・リコール課



事 務 連 絡

令和3年9月30日

公益社団法人全日本トラック協会会長 殿

国土交通省自動車局安全政策課長

降積雪期における道路管理者による立ち往生車両写真の撮影等について

令和2年末から令和3年初にかけて、高速道路などにおいて大規模車両滞留が発生したことを踏まえ、降積雪期において、道路管理者が、立ち往生車両の情報を適切に把握するため冬用タイヤ装着の有無等の状況を写真撮影することとし、当該情報をもとに地方運輸局等が当該車両を所有する運送事業者に対し降積雪期における輸送の安全確保対策の実施状況を確認することとしましたので、この旨、貴協会傘下事業者に対し周知願います。

事 務 連 絡

令和3年9月30日

公益社団法人日本バス協会理事長 殿

国土交通省自動車局安全政策課長

降積雪期における道路管理者による立ち往生車両写真の撮影等について

令和2年末から令和3年初にかけて、高速道路などにおいて大規模車両滞留が発生したことを踏まえ、降積雪期において、道路管理者が、立ち往生車両の情報を適切に把握するため冬用タイヤ装着の有無等の状況を写真撮影することとし、当該情報をもとに地方運輸局等が当該車両を所有する運送事業者に降積雪期における輸送の安全確保対策の実施状況を確認することとしましたので、この旨、貴協会傘下事業者に対し周知願います。

① 前面ナンバープレートの写真



トレーラをけん引している場合は
トレーラのナンバープレートの写真も



② 前方から当該車両も含めて後方の滞留状況を
写した写真



③ 駆動輪のタイヤ側面
(可能な限り大きく)



④ 駆動輪のタイヤトレッド面
(可能な限り大きく)



⑤ 後方から当該車両も含めて前方の
状況を写した写真



参考資料

事務連絡
令和3年1月28日

荷主関係団体等 へ

農林水産省食料産業局食品流通課
経済産業省商務・サービスグループ物流企画室
国土交通省自動車局貨物課

大雪等異常気象時における輸送の安全の確保に向けたご理解とご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

貨物運送に当たっては、荷主からの運送時間や運行経路等の指示に基づき運送する必要があり、大雪などの異常気象による突発的な道路状況の変化が生じた場合であっても、運行の中止や運送経路の変更等を行う場合には、荷主の承諾を得る必要があるなど、荷主のご理解とご協力が必要不可欠です。

こうした状況の中、昨今の大雪時において、高速道路や主要国道で大規模な車両の立ち往生が発生し、大型トラックが滞留の原因となったことが確認されており、トラック事業者に対する指導にとどまらず、荷主のご理解とご協力を得ながら大雪時における物流のあり方について、関係省庁とも連携し取り組んでいく必要があります。

つきましては、物流機能の維持とトラック事業者や運転者の生命・身体を守るため、今般の趣旨についてご理解いただき、下記の事項について、傘下会員への周知等にご協力を賜りたくお願い申し上げます。

【要請事項】

- 大雪などの異常気象による突発的な事象により、運送経路の変更や運送の中止などの必要が生じ、その原因となった事象がやむを得ないと認められる場合には、運送経路の変更等を認めるよう、ご協力をお願いします。
- 大雪などの異常気象により、運送に支障を来すことが予め予想される場合には、配送拠点に留置する在庫の積み増しや、予定されていた配送時間の前倒し、運送可能域内での物資の融通を行うことにより、トラック事業者への不要不急の運送依頼を控えていただきますよう、ご協力をお願いします。

気象予測資料について

- ・昨冬の気象予測資料
- ・気象台からの話題

名古屋地方気象台
気象防災情報調整官
若杉

- 令和3年1月7日から降雪が強まり、9日頃にかけて岐阜県を中心に、断続的に雪が降り大雪となる所がある見込みです。先般の年末年始の大雪より降雪の強まる期間が長く、岐阜県の山地および滋賀県境付近では積雪が多くなるおそれがあります。
- 大雪による立ち往生等に注意・警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控えていただくとともに、やむを得ず自動車を運転する場合には、冬タイヤの装着、チェーンの携行および早めの装着をお願いします。
- 降雪状況により、集中除雪による通行止めやチェーン規制を実施する場合があります。広域迂回の実施や、通行ルートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合には、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

【今後の気象見通し】

令和3年1月9日頃にかけての大雪

| 地域 | 6日 | 7日 | 8日 | 9日 | 10日 |
|---------------------|----|------|----|----|-----|
| 岐阜県 飛騨地方 美濃地方 | | ←→→→ | | | |
| 愛知県 | | | | | |
| 三重県 | | | | | |
| 静岡県 | | | | | |
| 長野県 南部 | | | ←→ | | |

警報級の大雪となる可能性がある期間： ←→

【気象概況】

○7日から9日頃にかけて、日本の上空に強い寒気が流れこみ、冬型の気圧配置が強まる見込みです。

○7日12時から8日12時までの24時間に予想される各地の降雪量は多い所で、

愛知県 1から5センチ 岐阜県 50から70センチ
 三重県 1から5センチ 静岡県 1から5センチ
 長野県南部 20から40センチ

8日12時から9日12時までの24時間に予想される各地の降雪量は多い所で、

岐阜県 60から80センチ
 長野県南部 20から40センチ

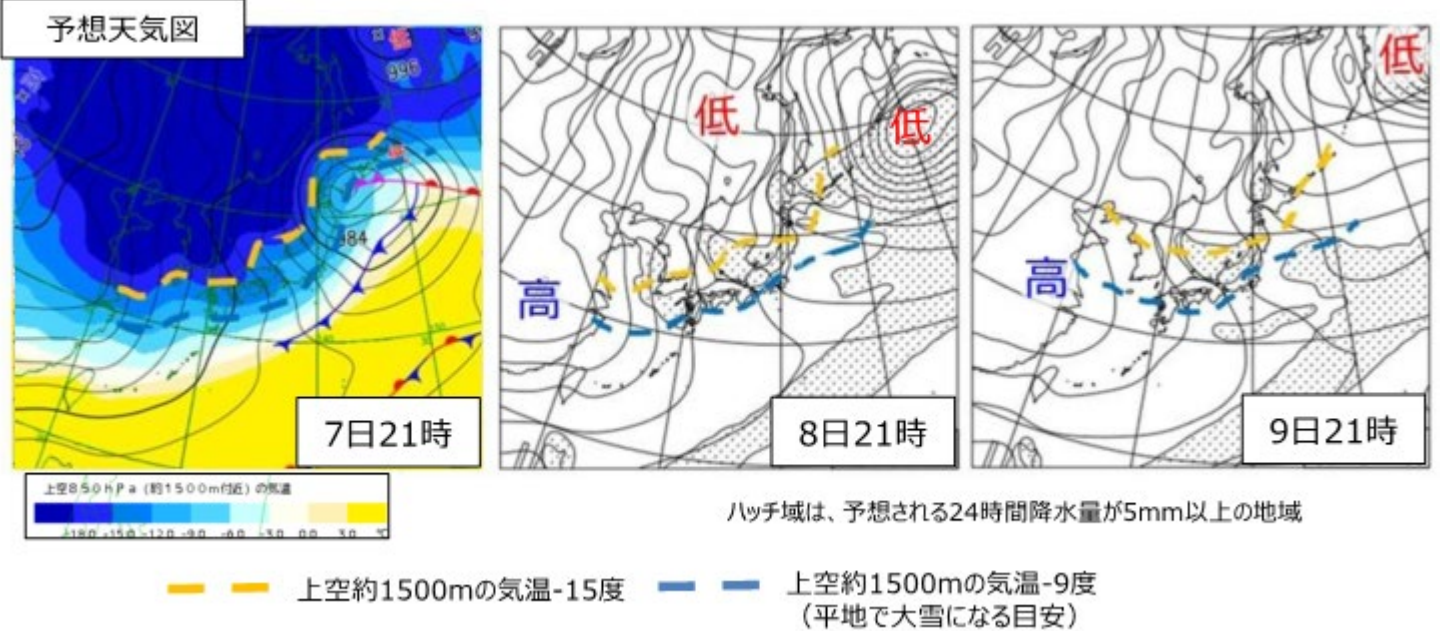
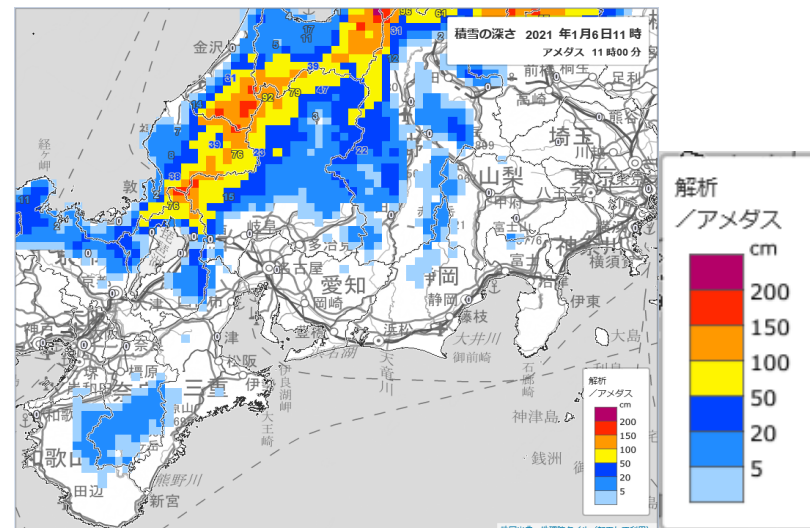
その後も岐阜県を中心に更に降雪量が増える見込みです。

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。

最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。

(https://www.jma.go.jp/jma/bosaiinfo/snow_portal.html)

【1月6日11時の積雪の深さ(解析積雪深、アメダス)及び予想天気図】



大雪警報・注意報基準（東海4県）

| 県 | 地域 | | 大雪警報基準 | 大雪注意報基準 |
|-----|--|----|-----------|--------------|
| | | | 12時間降雪の深さ | 12時間降雪の深さ |
| 岐阜県 | 中濃 飛騨北部 | 平地 | 30cm | 20cm(中濃10cm) |
| | | 山地 | 50cm | 30cm |
| | 飛騨南部 | | 30cm | 20cm |
| | 岐阜・西濃 | 平地 | 20cm | 10cm |
| | | 山地 | 50cm | 30cm |
| | 東農 | 平地 | 20cm | 10cm |
| 山地 | | | | |
| 愛知県 | 尾張東部 西三河南部 西三河北西部 西三河北東部 東三河北部 | 平地 | 10cm | 5cm |
| | | 山地 | 20cm | 10cm |
| | 尾張西部 知多地域 東三河南部 | | 10cm | 5cm |
| 三重県 | 北部 | | 20cm | 5cm |
| | 中部 伊賀 南部 | | 10cm | |
| 静岡県 | 中部南 伊豆 東部 西部 | 平地 | 10cm | 5cm |
| | | 山地 | 20cm | 10cm |
| | 中部北 | | 20cm | 10cm |
| 長野県 | 南部 | | 20cm | 10cm |

大雪特別警報の発表基準

数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表



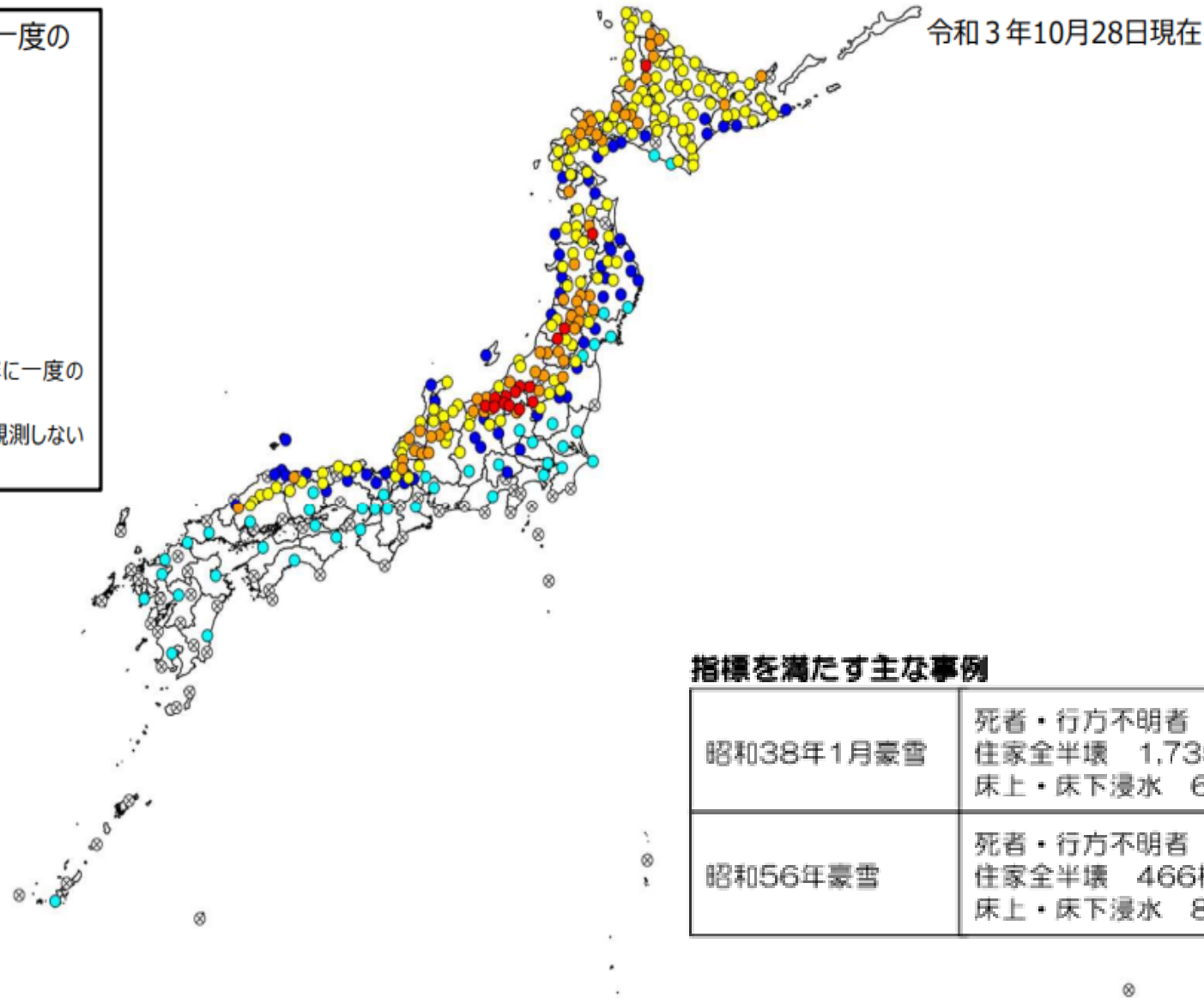
具体的には

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に発表

各地点における50年に一度の積雪深の値(cm)

- 0-50
- 51-100
- 101-200
- 201-350
- 351-600

⊗ データ不足のため、50年に一度の値が算出できない地点
もしくは、現在積雪深を観測しない地点



令和3年10月28日現在

主な地点の50年に一度の積雪深(cm)
(令和3年10月28日現在)

高山:112
白川:340
岐阜:42
名古屋:23*
津:12*

*が付いている地点は積雪深ゼロの年もあり、50年に一度の値の信頼性が低いのであくまでも参考値。

指標を満たす主な事例

| | |
|-----------|---|
| 昭和38年1月豪雪 | 死者・行方不明者 231人 住家全半壊 1,735棟 床上・床下浸水 6,978棟 |
| 昭和56年豪雪 | 死者・行方不明者 152人 住家全半壊 466棟 床上・床下浸水 8,097棟 |

気象台からの話題

- ・新しい雪の予報(降雪短時間予報)
- ・3か月予報(12月～2月)

✓ 近年、集中的・記録的な降雪による社会活動への影響が問題に

- 平成30年1月 首都圏の大雪（東京23cm、横浜18cm、前橋29cmなど）
- 平成30年2月 北陸地方の大雪（福井県で記録的な大雪）
- 令和2年12月 北陸地方の大雪（関越道で車両が多数立ち往生）
- 令和3年1月 北陸地方の大雪（福井県や富山県で車両立ち往生）

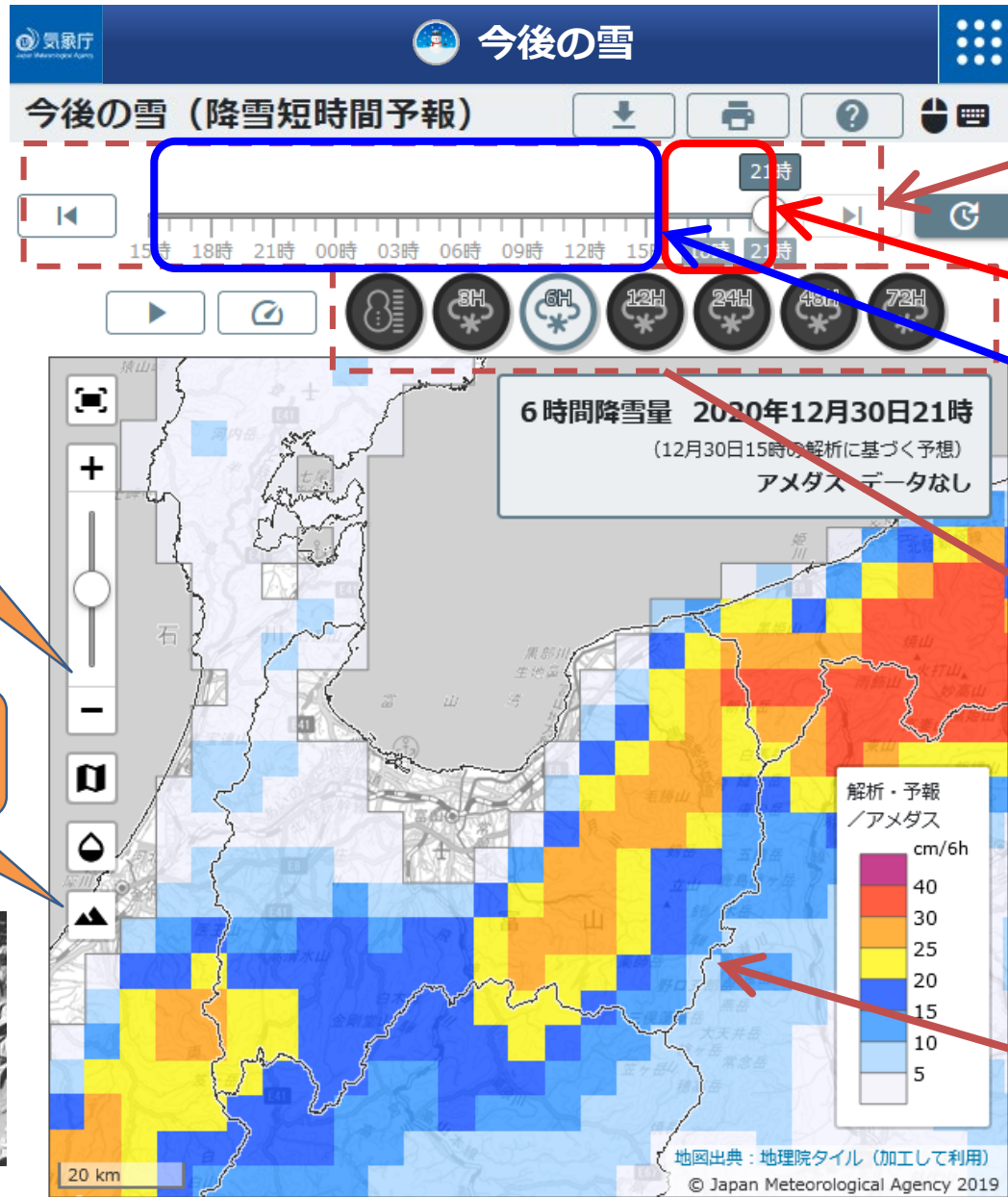
✓ 令和元年11月「解析積雪深・解析降雪量」の提供開始

- 現在の積雪の深さと降雪量を面的に推定したもの
- 気象庁ホームページでは「現在の雪」として提供

✓ 令和3年11月10日から「降雪短時間予報」の提供開始

- 雪による交通等への影響を前もって判断いただくための情報
- 6時間先までの積雪の深さと降雪量の面的な分布を予測
- 気象庁ホームページ「現在の雪」は「今後の雪」へリニューアル

今後の雪 (解析積雪深・解析降雪量・降雪短時間予報) R3.11.10から運用開始



過去24時間分の積雪の深さと降雪量に、6時間先までの予想を選択可

(降雪短時間予報)

(解析積雪深) (解析降雪量)

地図の拡大、縮小

陰影起伏図に切替



要素選択



積雪の深さ

降雪量
(左から3,6,12,24,48,72時間)

国土地理院の地図情報との重ね合わせ

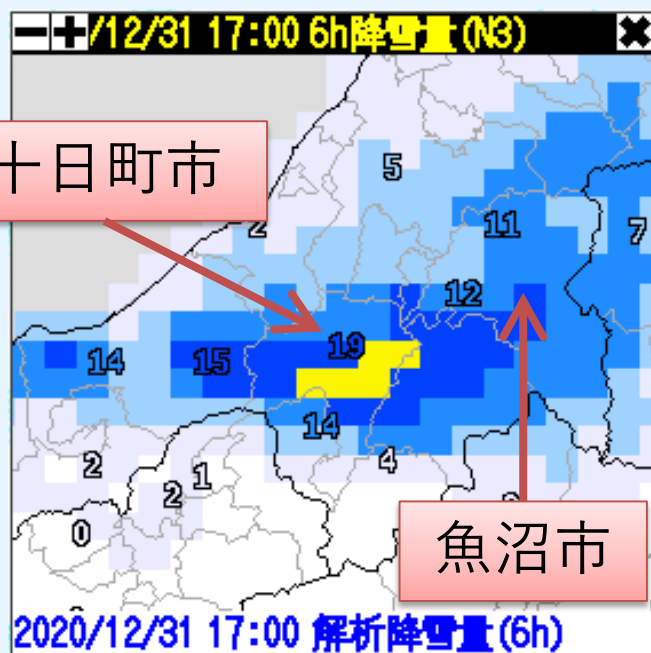
- **解析積雪深**は、解析雨量や数値予報モデルから得られた積雪の深さを観測値で補正し、積雪の深さの実況を1時間ごとに約5km格子単位で面的に推定したものです。
- **解析降雪量**は、解析積雪深が1時間に増加した量を加算したものです。
- **降雪短時間予報**は、6時間先までの積雪の深さと降雪量の面的な分布を予測したものです。

これらにより、**積雪深計による観測が行われていない地域を含めた積雪・降雪の面的な状況や予想を把握することが可能**となります。

今後の雪の利用例

2020年12月31日夜に関越道（六日町IC-長岡IC）で予防的な通行止め（集中除雪）が行われた事例

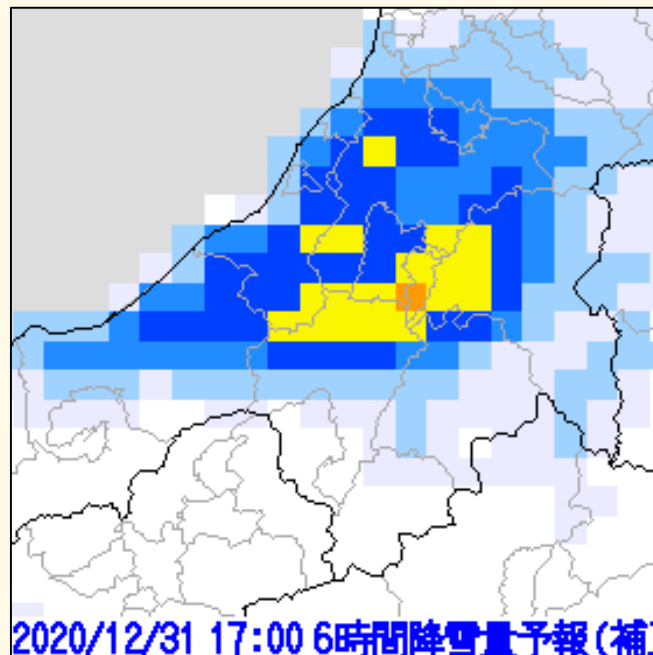
17時までの6時間降雪量
（解析降雪量+アメダス）



新潟県中越地方で、6時間に20cm前後の降雪を観測。

予測

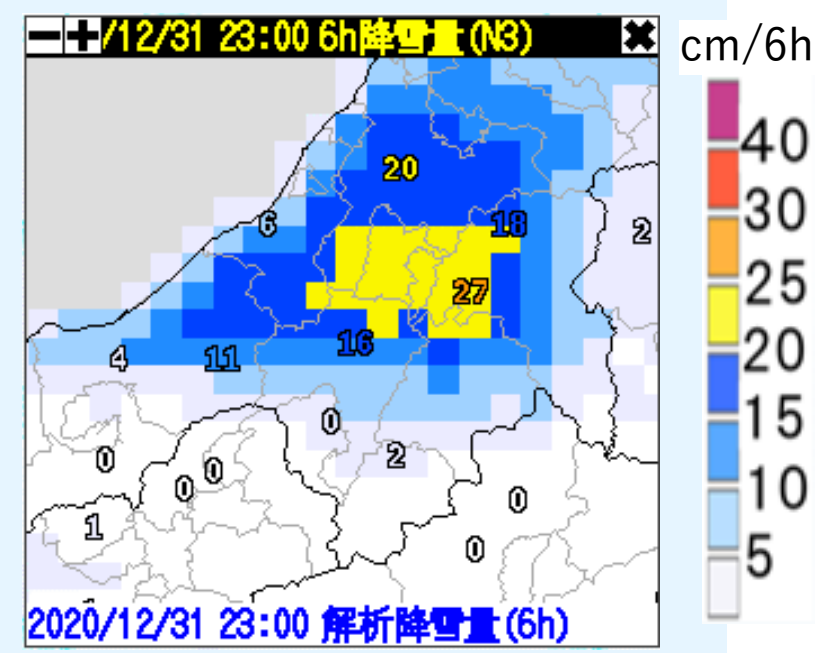
17時発表の6時間降雪量
予測（降雪短時間予報）



さらに23時にかけて、中越地方では大雪が続く予想。

結果

23時までの6時間降雪量
（解析降雪量+アメダス）



17時発表の予想に近い、20cmを超える降雪を観測。

6
時間
後

- ✓ 降雪短時間予報を確認することで、大雪が続く可能性があることを把握できた事例です。
- ✓ 迂回路の検討や、除雪の判断に活用いただけます。

3か月予報（12月～2月）

➤ 天 候

12月 冬型の気圧配置となりやすいため、平年に比べ晴れの日が多い。

岐阜県山間部では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い。

1・2月 平年と同様に晴れの日が多い。

岐阜県山間部では、平年と同様に曇りや雪の日が多い

➤ 気 温：平年並か低い見込み

➤ 降水量：平年並か少ない見込み（降雪量：岐阜県山間部では、平年並みか多い）

※気象庁ホームページ 東海地方3か月予報のURL

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=230000&term=3month



エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測

2021年10月の実況と11月～2022年5月までの見通し

11/10発表 エルニーニョ監視速報 (No.350)

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2111/10a/elnino202111.html>

- ラニーニャ現象が発生しているとみられる。
- 今後、冬の終わりまでラニーニャ現象が続かない可能性もある（40％）が、ラニーニャ現象が続く可能性の方がより高い（60％）。

エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差は -0.7°C

エルニーニョ現象等監視海域
 NINO.3: エルニーニョ監視海域
 NINO.WEST: 西太平洋熱帯域
 IOBW: インド洋熱帯域

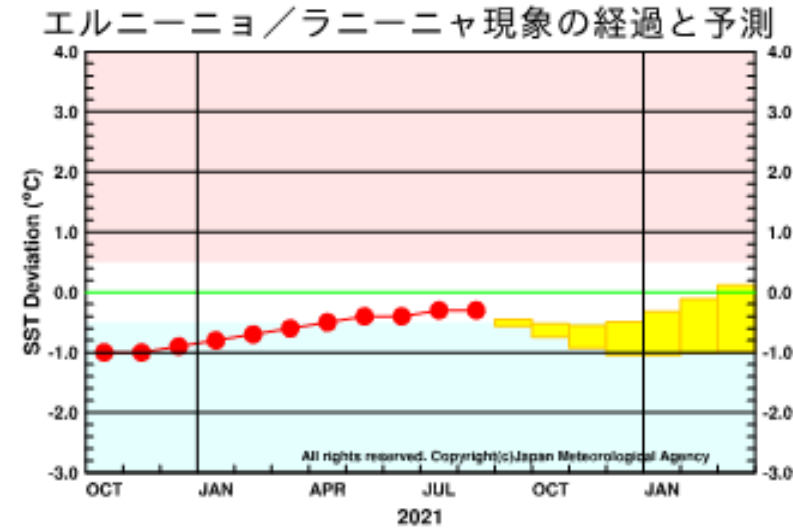


図1 エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値
 8月までの経過（観測値）を折れ線グラフで、エルニーニョ予測モデルによる予測結果（70%の確率で入ると予想される範囲）をボックスで示している。指数が赤／青の範囲に入っている期間がエルニーニョ／ラニーニャ現象の発生期間である。エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値はその年の前年までの30年間の各月の平均値。

エルニーニョ／ラニーニャ現象の発生確率
 （予測期間:2021年9月～2022年3月）

| 年 | 月 | 平均期間 | エルニーニョ現象 (%) | 平常 (%) | ラニーニャ現象 (%) |
|-------|-----|------------------|--------------|--------|-------------|
| 2021年 | 9月 | 2021年7月～2021年11月 | 10 | 0 | 90 |
| | 10月 | 2021年8月～2021年12月 | 10 | 0 | 90 |
| | 11月 | 2021年9月～2022年1月 | 10 | 0 | 90 |
| | 12月 | 2021年10月～2022年2月 | 10 | 0 | 90 |
| 2022年 | 1月 | 2021年11月～2022年3月 | 20 | 0 | 80 |
| | 2月 | 2021年12月～2022年4月 | 40 | 0 | 60 |
| | 3月 | 2022年1月～2022年5月 | 60 | 0 | 40 |

図2 5か月移動平均値が各カテゴリー（エルニーニョ現象／平常／ラニーニャ現象）に入る確率（%）
 エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値が $+0.5^{\circ}\text{C}$ 以上 / $-0.4^{\circ}\text{C} \sim +0.4^{\circ}\text{C}$ / -0.5°C 以下の範囲に入る確率を、それぞれ赤／黄／青の横棒の長さで月ごとに示す。気象庁の定義では、5か月移動平均値が $+0.5^{\circ}\text{C}$ 以上（ -0.5°C 以下）の状態が6か月以上持続した場合にエルニーニョ（ラニーニャ）現象の発生としているが、エルニーニョ監視速報においては速報性の観点から、実況と予測を合わせた5か月移動平均値が $+0.5^{\circ}\text{C}$ 以上（ -0.5°C 以下）の状態が6か月以上持続すると見込まれる場合に「エルニーニョ（ラニーニャ）現象が発生」と表現している。

ラニーニャ現象が日本の天候へ影響を及ぼすメカニズム



ラニーニャ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が上昇し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が活発となります。

このため日本付近では、

- ・ **夏季**：太平洋高気圧が北に張り出しやすくなり、気温が高くなる傾向
- ・ **冬季**：西高東低の気圧配置が強まり、気温が低くなる傾向